

9月の「お誕生会」！美味しかった「かき氷」



～4名のお友だちに「おめでとう」を！お誕生会の後は、全員で「かき氷」も！～



9月11日(火)、9月生まれを祝う「お誕生会」を実施しました。初めに、出席の確認です。9月担当の直井先生が「〇〇組さん」と呼ぶと、園児たち全員が手を挙げて、元気な声で「ハイ」と返事をします。あいさつと返事は「社会生活」を送る上での基本です。小さいうちから自然にできるようにしたいものですね。



進行役の直井先生が9月生まれの園児の名前を年長組さんから呼びました。名前を呼ばれた子どもたちは本当に嬉しそうです。

次に、園児一人ずつの自己紹介と先生のインタビューです。名前や生年月日から始まり、夏休み楽しかったことなどが質問されました。「東京タワーへ行ったこと」「スカイツリーに行ってきた」「ブドウ狩りをして楽しかった」など、夏休みに親子で出かけたことが一番の楽しい思い出だったようです。しっかりと質問に答えられたので、すごいなと感じました。インタビューの後、直井先生からお誕生日プレゼントが手渡されました。嬉しそうにプレゼントを抱えて自席に戻りました。



次に、全員で手遊び歌「パンの歌」をしました。楽しそうに、「アンパン、食パン、アンパン、食パン、クリームパン……」と大きな声で歌いながらの手遊びを楽しみました。「クロワッサンをみんなで食べてしまいなくなったので、そこを抜いて歌ってみましょう。」と先生からの提案。すると、ほぼ全員がクロワッサンの部分は手のゼスチャーだけで歌いませんでした。



しっかりと話を聞くことができました。しかし、次に「クリームパンや食パンを食べたのでそれは抜いて歌ってみましょう。」の場面では、さすがに難しく、歌ってしまう子が数多く見られました。

最後に、直井先生のカードシアターがありました。今回は、「涼しくなるもの出てこい出てこい」という、「ソフトクリームがのっているかき氷君が、涼しい物に変身していく」というお話です。直井先生の巧みな話術により、子どもたちも真剣に聞いています。問いかけられる場面では、「きっと、スイカだ」などと答えたり



もします。そして、かき氷君の運命は……。実は最後には……「おばけ」になっちゃうんです。子どもたちもビックリでした。

お誕生会の後は、子どもたちが楽しみにしていた「かき氷」タイムです。舘野先生



や櫻井先生が機械で作ってくれる「かき氷」をお部屋やテラスで食べました。イチゴ味のかき氷を食べながら、「先生、舌が赤なっているでしょ。」と見せてくれる子も。本当に天真爛漫です。少し涼しくなっはきました

が、まだまだ「かき氷」は子どもたちにとって大人気の様です。

【写真】・・・4段目までは「お誕生会」の様子。5・6段目は、「かき氷」を食べているぼんび組さんと年少組さん。楽しそう！